

西南ゆりの会 25周年記念号



18
号

西南学院大学女子同窓会
(西南ゆりの会) 機関誌
2011年4月1日発行
発行人 納富昌子
福岡市早良区西新6-2-92
西南学院大学同窓会内

バークレー学長と納富会長の記念対談 他者への思いやりを!

白ゆり25周年記念号にむけ、G.W.バーカー学長と西南ゆりの会納富昌子会長との対談が本館2F学長室にて行われ、両氏の本学への熱い思いを語つて頂きました。

ての抱負は何でしよう?

学長・現在大学経営は安定しています。これから少子化等の課題に早めに対処し基盤をさらに強化し、元気な大学を次の学長に渡したい。それには新しい学部・学科の設置、学生全体の語学能力アップの為の新しくできる言語教育センターの強化、寄付活動の充実を考えています。

納富・西南ゆりの会が女子同窓会のOBにより創られてちょうど25年がたちました。活動をご覧になつてどのように感じられますか?

学長・まず、おめでとうございます。いろいろな企画に積極的に取り組んで頂き、講演会・大学のPR・ネットワークづくりと元気がよくて、非常に活発ですね。納富・昨年、学長再選されまして、今後2期目及び学院創立100周年に向けて

ております。この現実は学生たちを苦しめていると思います。どう思われますか?

学長・平等取り扱いが一番大事です。男性・女性それはもう能力・実力にはほとんど関係ありません。現在女子学生が占める割合は約6割です。女子ラクロス部は全国大会で3位になりました。アイスホッケー部、水泳部も女子が優秀ですよ。

納富・現在チャペルが素晴らしいオルガンを備え新しくなりました。学生達に今何を得て頂きたいのでしょうか?

学長・キリスト教の精神に触れその精神を活かし、思いやりの気持ちを持ち、相手や周りの方々の為に何が貢献できるかを考えながら人生を送つてほしいですね。

A. 「西南ゆりの会」では会費は徴収しております。3年に一度程度実施する大きなイベントの収益金を活動資金に充てています。その他大学同窓会からの補助金、皆さんからのかなべで運営されています。(7頁参照)

Q. 活動内容はどのような事ですか?

A. 最近の活動は7頁「事業報告」及び本誌「白ゆり」等でご報告しております。2010年度は「西南ゆりの会25周年記念講演会(大宅映子氏・世界の中の日本)」をはじめ、西南ゆりの会サロン、女子学生就職支援等を実施いたしました。本誌の発行も活動の一つです。イベント開催は大学ホームページでもご案内しております。皆さんどうぞお気軽にお待ちしております。

西南ゆりの会ってなに?

Q. 西南ゆりの会とは
どのような会ですか?

A.

西南ゆりの会の正式名称は「西南学院大学女子同窓会(西南ゆりの会)」といいます。1986年に発足し、西南大を卒業した女性は皆さん「西南ゆりの会」の会員となります。



納富昌子会長

バークレー学長

と本学のチャペル出席は素晴らしいものです。日本一ではないかと思います。また、ゆりの会には、新卒のサポートシステムをつくって頂ければいいなと思います。納富さんなど、女性が働くには今より厳しかった時代での経験を、新卒の学生に力をとして分け与えて下さい。納富・昨年は世代別就職セミナーを開催致しました。女性は清らかな聖書のゆりの花のように、大学を卒業した後も爽やかに生き抜く。私はそういう気持ちで同窓会活動をやつてゆきたい、そして、学長と共に夢を広げてゆきたいと思つております。

西南ゆりの会 創立25周年に寄せて



西南学院大学
西南ゆりの会
会長 納富昌子



西南学院大学同窓会
会長 中脩治郎

西南ゆりの会が先輩たちの手によつて設立されて25年、昨年秋には評論家の大宅映子氏をお迎えして西南学院大学チャペルで記念講演会を開き内向きな日本のありようを厳しく叱咤していただきました。歯に衣着せぬ内容に参加者の方々には一応手ごたえを感じて聞いていただけたようです。

就職支援セミナーにおきましても就

創立以来、数々の会員交流事業の開催や母校西南への多面的なご支援策を実

西南ゆりの会が先輩たちの手によつて設立されて25年、昨年秋には評論家の大宅映子氏をお迎えして西南学院大学チャペルで記念講演会を開き内向きな日本のありようを厳しく叱咤していただきました。歯に衣着せぬ内容に参加者の方々には一応手ごたえを感じて聞いていただけたようです。

就職支援セミナーにおきましても就

河期にある後輩たちと就職への心構えなどを直接語りあうことができ、ともに貴重なひと時を過ごすことができました。来るべき学院の100周年に向けて私たちゆりの会も西南の進化に貢献できるようアイデアを出し、ともに進んで参りたいと存じます。さわやかな地域のリーダーが女子学生の中から育ちゆくことを願い、無縁社会の中で「つながる・広がる・ふくらむ」をテーマに活動してまいりたいと思います。

今後もどうぞ皆さまの変わらぬお力添えと女子卒業生のさらなる参加を心よりお願い申し上げる次第でございます。

行されてこられた実績は、大なるものがあつたと感じ入つておる次第です。今や在校生の六割を女子学生が占める状況の下では、貴会の存在ならびにその活動は、益々重要なものとなつていくものと痛感しております。本年西南学院は創立95周年を迎えておりますが、今後一層のご精励と我が同窓会への力強いご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最後に、これまで貴会運営に携わつてこられた方に敬意を表しますと共に、会員の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

西南ゆりの会25年の歩み

西南ゆりの会

西南学院

02.9.1	02.2.8	01.10.13	01.1.26	00.9.19	00.1.8	99.11.13	99.7.24	98.2.16	98.11.28	97.9.30	96.11.9	95.10.28	94.11.26	93.11.6	92.11.19	91.11.11	90.11.10	89.11.11	88.11.12	87.10.24	86.10.4	85.3.29
--------	--------	----------	---------	---------	--------	----------	---------	---------	----------	---------	---------	----------	----------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	---------	---------

- 発会式 第1回総会
末永博子氏のピアノ演奏、木村栄文氏の講演
- 初代会長に渡辺由美就任
- 第1回秋のつどい 母校教授による公開講座
講師／高橋さやか氏、大内和臣氏
- 母校教授による公開講座
講師／門田見昌明氏
- 母校教授による公開講座
講師／中村栄子氏、宮原哲氏
- 秋のつどい 講師／財津和夫氏
- 秋のつどい 講師／木村栄文氏
- 秋のつどい 桑原敬一氏及び在福岡航空会社代表者によるバネルディスカッション
- 二代会長に内海昌子就任
- 本会通称を「西南ゆりの会」に決定
- 秋のつどい 青野詔子氏によるバイオルガン演奏と西南ブリエールの合唱
- 機関誌「白ゆり」創刊
- 母校教授による公開講座
講師／山中耕作氏
- 母校教授による公開講座
講師／及能正男氏
- 秋のつどい（10周年記念）
講師／加藤タキ氏
- 三代会長に渋田壽子就任
- 秋のつどい 講師／L.K.シート院長
- 秋のつどい 講師／野村萬斎氏
- 秋のつどい（女子同窓生2万人突破記念）
講師／野村萬斎氏
- C.K.ドーナー先生ゆかりの地を訪問旅行
秋のつどい 弦楽四重奏を聴く
- 第1回新春のつどい（名刺交換会）
さよなら1号館（ミニサロン）
- 大学開学50周年記念式典等に参加
- 新春のつどい（15周年記念）
中国古典樂器コンサート
- 新春のつどい（名刺交換会）
秋のつどい（15周年記念）
- 第25回拡大ミニサロン 講師／上垣彰氏
- 新春のつどい（名刺交換会）
新春のつどい（名刺交換会）
- 機関誌「白ゆり」第10号記念号

01.4	99.11	西南学院大学
ハウス完成	開学50周年記念式典	
インターナショナル	97.3	女子学生寮「汀寮」が百道浜に移転し新築

セピア色の一枚

女子同窓会（西南ゆりの会）発会式

初代会長 渡辺由美（文英70期）



写真は1986年3月29日 発会式の時のものです。

前列、花束を持つ左の女性が末永博子氏、右が木村栄文氏。後方に西南ゆりの会会員が勢揃い。

10 11 10	10 11 6	10 6 5	10 2 5	09 11 17	09 9 19	09 6 12	08 11 15	08 10 6	07 10 20	07 3 29	06 12 2	06 9 2	06 6 9	05 12 1	05 11 12	05 12 1	04 1 22	04 10 27	04 1 24	03 11 26	03 6 13	03 1 24	02 10 16
◆ 86年度から西南ゆりの会サロン34回開催 ◆ サラマツボの会援助 (フィリピンの女子大学生への奨学金支援)	◆ 西南ゆりの会25周年記念イベント ◆ 第5回女子在学生就職支援講座	◆ 「世界の中の日本—未来のために今何を学ぶべきか」 講師／大宅映子氏	◆ 西南ゆりの会サロン 講師／井上芳雄氏	◆ 新春のつどい 講師／小林洋一氏	◆ 秋のつどい 講師／岡部定一郎氏、河本光博氏	◆ 第4回就職支援イベント 講師／松田美幸氏	◆ ミニサロン「キャンバスに『ユリ』を植えよう」 講師／小林洋一氏	◆ 「新春のつどい」 講師／村上隆太氏、お茶会、インテリアグリーン教室	◆ 「秋のつどい」 講師／白ゆり第13号(20周年記念号)	◆ 「秋のつどい」 講師／寺園喜蔵院長	◆ 「秋のつどい」 講師／井原絹川就任	◆ 「秋のつどい」 講師／寺園喜蔵院長	◆ 「秋のつどい」 講師／吉田扶久子就任	◆ 「秋のつどい」 講師／岩間徹氏、ヴァイオリン演奏／西和田ゆう氏	◆ 「秋のつどい」 講師／宮原哲氏	◆ 「秋のつどい」 講師／富原哲氏	◆ 「秋のつどい」 講師／小林洋一氏	◆ 「秋のつどい」 講師／石井康子氏	◆ 「秋のつどい」 講師／森本哲郎氏、講師／朴源弘氏	◆ 「秋のつどい」 講師／新川義典	◆ 「秋のつどい」 講師／吉田扶久子就任	◆ 「秋のつどい」 講師／厚生棟(西南クロスプラザ)設置	◆ 「秋のつどい」 講師／法科大学院を設置
◆ 西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 西南ゆりの会25周年記念講演会 講師／大宅映子氏	◆ 「世界の中の日本—未来のために今何を学ぶべきか」 講師／大宅映子氏	◆ 西南ゆりの会サロン 講師／假屋崎省吾氏	◆ 新春のつどい 講師／藤原のぞみ氏、柳原歌代子氏	◆ 「西南ゆりの会25周年記念イベント」 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会25周年記念講演会 講師／大宅映子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／大宅映子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏		
◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏	◆ 「西南ゆりの会サロン 講師／武末祐子氏		

西南ゆりの会25周年記念

フランス美の饗宴—庭園とテーブルセッティング 武末祐子先生の卓話を聞く

2010年6月5日(土)西南クロス
プラザで、第34回西南ゆりの会サロン
が開催されました。

今回は、前半に武末祐子先生(西南
学院大学文学部外国語学科フランス
語専攻教授)の講演、そして後半は茶
話会とユリの花壇の観賞のプログラム
でした。

この講演は、昨年、活躍する同窓生
を紹介する「共に輝く」で武末先生を
インタビュー(「白ゆり17号」に掲載)
した際、お話をあまりに面白く、是非、
講演会の場でフランスの庭園文化や
食文化について聞かせてほしいとお
願いし、25周年記念行事のトップを切
って実現したものです。

講演のテーマは「フランス美の饗宴
—庭園とテーブルセッティング」でし
た。フランス式庭園(幾何学式庭園)の
最も完成した姿は、ルイ14世の創った
ヴェルサイユ庭園に見られるそうです。
その特徴は、室内空間の室外への
延長として構成された庭園に、ボスケ
と呼ばれる緑の部屋(噴水、彫刻、滝等
を配置)を作り、そこで宴を楽しんだ
こと。また、室内の宴会テーブルの中
央にも、庭が造られ、人々がその視覚
的美しさを楽しみながら食事をした
ということです。

フランス宮廷文化の、庭にはテーブ



6月5日の「西南ゆりの会」花壇

この講演には続きがあります。武末先生は昨
秋からパリ留学中です。先生にお願いして25
周年記念号にパリ通信をお願いしましたと
ころ、最新の写真と通信が届きました。

(文英71期 中里利子)

講演後、先生のお話を思い出しながら、
美味しいお茶とケーキを頂き、閉会後、
まだ咲き始めのユリの花壇観賞に出向
きました。

講演後、テー
ルがあり、テーブルには庭があるとい
う何とも粋な空間を作ることへのそ
のこだわりについて、豊富な映像を見
ながら聞くことができました。このよ
うな庭園文化と食文化は、現代でもフ
ランスでは、生きているようです。フ
ランス文化の奥深さを知る良いきっ
かけになつた講演でした。



フランスの庭園鑑賞は、カラフルな花が次々
に咲く4月から10月がシーズンで、冬は庭の
管理時期である。その間、温室(熱帯植物園)や
別名「冬の庭」と呼ばれるオランジュリーを鑑
賞するとよいだろう。南国の大オレンジの木を北
のフランスで育てるために造られたオランジ
ュリーは、ヴェルサイユにもあるように歴代
フランス王のステータスシンボルであった。19
世紀には鉄とガラスによる美しい

温室建築が発展し熱帯植物観賞は
ブルジョワ階級でトレンドとなる。

1月のある日、そのような歴史
を反映するパリ植物園の一角にある
温室を訪れた。冷たく乾燥した
パリの外気を避けて一步室内に入
ると、湿った空気の中で呼吸する
植物に応えるように体内の循環
器官が和らぎ、次第に体が内部か
らほぐれていくのを感じた。この
温室のキャッチコピーに「植物を
学ぼう」と書いてあったが、人体
への癒し効果が大きいことも間
違いない。

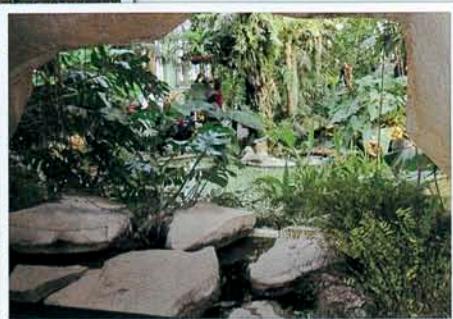
パリ通信

冬の庭

文学部教授 武末祐子



▲パリ植物園の温室外観



▲温室内部



▲温室内部

「世界の中の日本 未来のために今何を学ぶべきか」
大宅映子氏講演会

エス。プリ溢れる評論

2010年11月6日、大学チャペル
に大宅映子氏を迎えて講演会を開催。

大宅映子氏は、日本のジャーナリストの先駆けで「1億総白痴化」等の毒舌を残した作家大宅壮一氏の三女。壮一氏はともかくしても、映子氏はテレビでもお馴染の顔、彼女を知らない人はいないでしょう。

壇上に颯爽と現れた映子氏は、スタイル抜群で年齢を感じさせない趣。お話は、ご両親の出会いと恋愛、ご自身の生き立ちから始まりました。四人兄弟の中でお一人だけハンサムとは言い難い父親壮一氏に似てしまつた映子氏は、そのハンディを克服すべく早くから自立心が芽生えましたと笑いを誘い、会場は和やかな雰囲気に包まれました。

本題に入ると、歯に衣着せぬ辛口の論評はさすがでした。尖閣諸島沖の中国船衝突事件、民主党の一貫性のない経済政策、開国を迫られている農業政策、先行き不明の福祉政策、平等主義に走り過ぎの教育現場等など諸問題を一刀両断していく口調

は、小気味良いものでした。
結論的に映子氏が提言したこと

は次の二点でした。一つは日本人のよき素晴らしい自覚し、一人が自信を持つて日本の未来のために行動すべきだという事。もう一つは「個」を確立すべきだという事。「自己確立・自己主張・自己責任」の基礎固めはまず家庭で行い、自分の意志で自分の考えを社会に表明できるようになる、これが肝心ということでした。

映子氏の最後

自己主張・自己責任ができるか考える機会になつた。「講演を聞いてエネルギーをもらつたので第一歩を踏み出したい。」等、前向きな意見が多くみられました。

(児教72期 松永恵子)



講演会のチラシ



講演アンケート

- 多くの経験に裏打ちされた人間力で、容易に個人の在り方を多くの事例を引用しながらの講話でした。
- 刺激を受けた日本の未来に危機感を感じつつ過ごしている今日この頃、私も第一歩踏み出したいです。
- 私も頑張りたい。共感できた。
- 大変面白かった。自己確立、自己責任、自己主張に関して自分ができているのかを考える機会になつた。
- 女子の会に偏らず人として考えを広げていけたらと思います。
- ご両親のエネルギーがいっぱいの大宅さん。お一人でもこれだけのエネルギーと説得力を受け取りました。
- 鎖国でなく本当に身のまわりから自己確立、自己主張、自己責任を改めて思った。
- 時期を得たお話をしました。日本の将来を考える機会にしたいと思う。

第5回キャリア支援講座

女性が誇りを持つて 働ける社会に

2010年11月10日に西南クロスプラザで「女性が誇りを持つて働く社会に」と題したキャリア支援講座を開催しました。

当日はまず納富昌子さん(76期 RKB毎日放送(株)メディア事業局専門局長)、古賀敦子さん(80期 学校法人西南学院 総務部秘書課長)、梶原裕子さん(00期 九州電力(株)経営管理部)、高園朋子さん(07期(株)ふくおかファインシャルグループ人事統括部)の4人の講師にスピーチをしていただきました。その後ゲストスピーカーを囲んでお茶とお菓子をいただきながらの質問や相談の時間を過ごしました。

男女雇用機会均等法があるとはいっても男女平等ではない就職戦線、入社後も企業の中に依然として残っている男女の障壁、結婚・出産など女性ならではの様々な転機、就職はゴールではなくスタート、その中で仕事を続けていくには決意が必要。自分が何がしたいのか、自分のどんな能力を社会で活かすのか、授業やサークル活動、アルバイトを両立させ充実した学生時代をおくりながら見つけ出すことが必要。といった先輩達からの熱いメッセージでした。



古賀 敦子さん

(商商83期 井上暁子)



梶原 裕子さん

今回の就職セミナーは、少しでも後輩の皆さんの方になれればと思い、自分自身の就職活動の経験や現在の仕事内容、エネルギー業界に関する話をさせていただきました。

人前で話すのが苦手なため緊張してしまい、上手く伝わったか不安なところもありましたが、学生の皆さんから熱心な質問や相談を受け、私にとつても卒業後の自分を振り返る良い機会になりました。

近年の就職活動は厳しい状況ですが、一方で、社会での女性の活躍の場は確実に広がっていますので、学生の皆さんには、ぜひ前向きに捉えて頑張っていただきたいと期待しています。



高園 朋子さん

今回の就職支援講座にパネラーとして参加させていただき大変光栄に思っております。

自分の母校でこのような素晴らしい活動があつてているのだと知り、嬉しく、誇らしく思いました。

私は人前で話ができるような就職活動の体験談を持つていないためこのお話を頂いたときに、学生の模範となるような体験談を伝えることができるのか少し不安でした。しかし、「就職することがゴールではない」という自分の思いを伝えることができたと思っています。

それは、私が現在人材育成という担当部署により、就職をするまでよりむしろ「本番は入社してから」ということを日々感じていました。しかし、「就職することがゴールではない」という自分の思いを伝えたかったのです。今回、前に立つことだけではなく、談話があつたので、自分の思いをより伝えやすかつたです。就職活動中、悩んだり苦労したりすることもあるかと思いますが、女生の皆様が成長なさることをこころより祈念しております。

学生アンケート

採用・就職活動

等を意識せずに近い距離で話せてとても良かったです。(外国语11期)

これから就活へのモチベーションをあげることができたので、是非次回このような機会があつたら参加したいと思いました。(英文12期)

実際に仕事とはなにか、またキャリアアドバイスについて考える上で参考になることがばかりでした。特に各テーブルに分かれてからは質問することができたので、とても貴重な体験となりました。(国文12期)

「女性が社会に出て働く」ということは社会側が女性的な感性を受け入れていくということだとわかりました。(法12期)

様々な分野で活躍されている方々のお話を聞いて、わくわくしました。(国法13期)

先輩方のお話を聞くことが出来て、実際に話すこともできたので、とても参考になりました。就活のこといろいろ悩んでいたこともあったので、お話を聞くことが出来てスッキリしました。

今後の就活にも活かしていけたらと思います。

先輩方と話す時間がもう少し長かつたら良かったと思いました。今日はありがとうございました。(国法12期)



熱心に先輩達からのスピーチに耳を傾ける学生

サラマッポ奨学生からの御礼状

サラマッポ会とは…

経済的理由で学校に行けないフィリピンの青少年に学費を送り、文通を通じて心豊かな交流を目指す国際教育里親の会です。「サラマッポ」はフィリピン語で「ありがとう」。交流を通じて学生たちから受ける心の豊かさに、かえって「ありがとう」と感謝を表すために名付けられました。西南ゆりの会では一人の女子学生の入学から卒業までを支援しています。

拝啓 クリスマスがどんどん近づいており、誰もが家族や愛する人たちとクリスマスを祝おうと、うきうきしています。このお祝いは主イエス・キリストへ捧げる大事なものであり、また他者への愛に関するものでもあります。それは贈り物を贈ることで、誰にもはつきりと示されます。

とはいっても、クリスマスの本当の目的は贈り物ではなく、愛と平和を示すことです。私と、神様の恩恵を分かち合っていただきましてとても嬉しく感謝しております。神様が皆さまとそのご家族を大いに祝福して下さるよう祈り続けます。今年のクリスマスは皆さまが経験されるなかで最もすがすがしく、豊かでそして平和なものになりますように。

それから、いつの日か、何らかの方法で、

お会い出来ますように、そうなれば、何度も何度も心からのお礼を述べたいと願っております。

メリークリスマス 敬具

MCRHEA FAYE MARTIN



郵便振替番号
01710-19-85645-西南ゆりの会

永光加代子、三上正子、山本壽子、井口紀子、寺園峯子、岩尾豊子、松浦ゆかり、石神美代子、黒岩綾代、安西恵、中村麻紀子、野田綾枝、城崎由紀子、井上暁子、桑野綾子、大嶋悦子、古賀敦子、藤沢佑子、中野利子、土井光子、中里利子、日高恵美子、山田啓子、永嶋恵美、渡田壽子、田村明美、日下部千春、佐藤このみ、宮崎孝子、高見征子、内海昌子、吉田扶久子、山崎芳子、井原綾江、矢野多美恵、納富昌子、高山和代

(敬称略)順不同以上37名

ございました。昨年度も多くの方々からカンパをいただき本当にありがとうございました。当会は会費徴収を行わず、大学同窓会からの補助金で運営されています。しかしながら経常の活動費、行事関係の諸費用、白ゆりの制作費、郵送費等、補助金だけでは到底賄いきれないのが現状です。何卒これら的事情をご覧察の上、お志のある方は一口千円(何口でも)お振込みいただきますよう、本年も切にお願いする次第です。尚、昨年度カンパいただいた方のお名前を感謝と共に記載させていただきました。

(会長 納富昌子)

カンパのお礼とお願い

急速白ゆり25周年記念号の編集に携わることになりました。段取りもわからず見事見真似でここまでたどり着きました。もっと早くとりかかれればという仕事と同じ反省をしつつ、ゆりの会が記念事業としてやつてきたことが読んだ方に伝わって、今後ももっと多くの人に行事に参加していただけたらと思います。

(商商83期 井上暁子)

ゆりの会の活動に関わらせて頂き、改めて私達が学んだ学院のことを知ることが出来ました。OGの方々にもこの「ゆりの会」を通じて学院の更なる発展を暖かく見守つて頂けたら幸いです。そして、ゆりの会の行事に参加されませんか? 旧友を誘つて…! 昔に戻つてキャンバスを歩くのもいいものですよ!!

(法法82期 日高恵美子)

編集後記

平成21年度 西南ゆりの会事業報告 (2009年4月1日~2010年3月31日)

1. 西南ゆりの会総会

日時 平成21年6月12日(金) 17:30~18:00
会場 ソラリア西鉄ホテル 出席者 約40名

2. 西南学院大学同窓会総会

日時 平成21年6月12日(金) 18:30~21:00
会場 ソラリア西鉄ホテル 積極的に参加

3. 33回西南ゆりの会サロン

日時 平成21年9月19日(土) 13:00~15:00
会場 西南クロスプラザ レセプションホール
講師 G.W.バーカー学長 「開学60周年を迎えた西南学院大学の現状と展望」
出席者 43名

4. 第21回秋のつどい

日時 平成21年11月17日(火) 13:00~15:00
会場 西南コミュニケーションセンター 1Fホール
講師 華道家 假屋崎省吾氏 「花とトークショー」 来場者 約180名

5. 第11回新春のつどい

日時 平成22年2月5日(金) 19:00~21:00
会場 西鉄グランドホテル 2F 鳳凰の間
第一部 ミニコンサート…ヴァイオリン 藤原のぞみ氏、ピアノ 柳原歌代子氏
第二部 憲親会 ピュッフェ形式のパーティでの名刺交換会
出席者 100名

6. 西南ゆりの会 機関誌「白ゆり」第17号について

平成21年12月1日発行予定の「白ゆり」第17号は平成22年4月1日発行に変更

7. 西南学院大学内聖書植物園ボランティアに参加

西南ゆりの会が17年度に寄贈したゆりの花壇の手入れを含む。
毎月第3土曜日 2名参加(平成18年1月より実施)

8. サラマッポの会援助

フィリピンの女子学生に奨学金として寄付

9. 役員会

定例役員会 原則として隔月第4水曜日に開催
21年度は4月、5月、7月、8月、10月、12月、3月に開催
各部会 役員会が役割を分担し部会ごとに活動
①広報部会 機関紙「白ゆり」編集会議 5回
②事業部会 第33回西南ゆりの会サロン準備 1回/第21回秋のつどい準備 4回
③名簿部会 新春のつどい案内状の発送作業 1回

平成21年度 西南ゆりの会収支報告書

(2009年4月1日~2010年3月31日)

1. 収入の部

項目	収入額	備考
縁越金	2,173	前年度縁越し
同窓会補助金	500,000	大学同窓会よりの活動補助金
講演会等費	975,920	秋のつどいチケット代金 その他新春のつどい会費及びご祝儀
西南ゆりの会サロン費	50,000	西南ゆりの会サロン会費及びご祝儀
収益金取りくずし	0	本年度は取りくずしなし
特別収入	140,000	秋の集い
雑収入	32	普通預金利息
収入の部合計	1,668,125	

2. 支出の部

項目	収入額	備考
講演会等費	995,451	秋のつどい、新春のつどい費用
西南ゆりの会サロン費	53,880	西南ゆりの会サロン講師謝礼、お菓子代等
慶弔慰労費	69,550	他大学イベントの出席費、お祝い金等
通信費	35,460	切手代金等
印刷費	90,615	秋の集いのちらしやポスター等作成費 機関誌「白ゆり」作成費は本年度はなし
会議費	120,919	役員会費用
寄付金	50,000	サラマッポ会(フィリピンの女子学生の学費支援)への寄付金
雑費	10,584	振込み手数料、事務用品等
縁越金	241,666	平成22年度会計へ縁越し
支出の部合計	1,668,125	



ボランティアの方々と小林先生(右)

ボランティアの参加者は、ゆりの会の方々の他に、本学の現・旧職員、O.B.O.G.、学生、市民の方々で、平均1~2名の参加です。作業は、ゆりの会のユリのある大学博物館前の花壇の草取りから始まり、リヤカー2台（一台は作業道具、もう1台は抜いた雑草運び）を引きながら、キャンパスの全体の聖書植物を見回る形でなされます。

聖書植物園ボランティア活動は、お陰様にて今年で5年目を迎えます。毎月第3土曜日、午前9時以降西新キャンパスの本館前に集合して12時まで、聖書植物園の管理運営（平たく言えば「草取り」）をしています。雨天の日以外は、夏の暑さにも、冬の寒さにも負けずにやっています。このボランティア活動に、ゆりの会が積極的に協力して下さり心より感謝申し上げます。

ボランティアの参加者は、ゆりの会の方々の他に、本学の現・旧職員、O.B.O.G.、学生、市民の方々で、平均1~2名の参加です。作業は、ゆりの会のユリのある大学博物館前の花壇の草取りから始まり、リヤカー2台（一台は作業道具、もう1台は抜いた雑草運び）を引きながら、キャンパスの全体の聖書植物を見回る形でなされます。

聖書植物園ボランティア

神学部 教授 小林 洋一（世話人）



お知らせ

- 平成23年6月10日（金）ホテル日航福岡
西南ゆりの会総会 17時30分～
大学同窓会定期総会・懇親会 18時30分～
会費6,000円（2011年3月卒業の新会員の方は無料）

● 近日中

- 西南ゆりの会創立25周年記念
文学部外国語学科フランス語専攻北垣徹教授による
公開講座及び記念式典懇親会

※詳細は西南学院大学ホームページをご覧ください。

の花が咲いていないときでも、こちらの「花」は賑やかです。
時には、雑草と間違えて、聖書植物を引き抜くこともありますが、それはお愛嬌というものです。どうぞ、お気軽にご参加ください。



「西南ゆりの会」の花壇を手入れ中



西南ゆりの会のみなさまを手厚くサポート



西南オリジナルグッズ販売
西南オリジナルお菓子販売
(西南チロリアン・セナフィー)
人材派遣(就職支援)紹介
同窓生限定ブライダル
印刷全般
イベント・コンサート
保険代理事業
教室貸出し・旅行手配・学生マンション斡旋



学校法人西南学院グループ
(株)キャンパスサポート西南
福岡市早良区西新3丁目12-14
TEL092-823-3576/FAX092-823-3590



キャンパスサポート西南

検索